歴史的建造物など特別公開

第14回湘南邸園文化祭2019

相模湾沿岸地域一帯で歴史・文化を育み、人々の心に残る景観を形づくってきた邸宅・庭園や歴史的建造物を交流の場として保全活用し、地域の活性化につなげようと企画された「湘南邸園文化祭」が9月13日から12月15日まで開かれている。今年で14回目。その一部を紹介する。

鎌倉―▼パヴロバ・バレエスクールメモリー　10月6日13時、由比ガ浜公会堂。2千円。申込はメール（10月1日締切）。鎌倉邸園文化クリエイション☎0467・32・1650

▼鎌倉別荘建築の至宝―旧山本条太郎別荘（現神霊教鎌倉霊源閣）　11月28日～12月1日10～16時、特別公開。5百円。鎌倉の別荘地時代研究会☎0467・67・5873　逗子―

▼時代を彩った古民家を継承する　―正力松太郎ご親族の話を聞き、氏が住み、語らい、坐禅を組んだ家を味わう　11月7日14時、亀岡八幡宮集合。2千円。申込はメール。原風景を生かすまちづくりの会☎090・4950・4082　葉山―

▼山口蓬春記念館邸園ツアー①　11月3日②12月7日11時。無料（要入館料）。先着15人。同記念館☎046・875・6094

▼遠藤新設計「旧井上匡四郎」邸で過ごす葉山の午後　10月13日13時、真砂邸。3500円。申込はメール。葉山環境文化デザイン集団☎090・1115・1312　茅ヶ崎―

▼国登録有形文化財で上映する小津安二郎監督活弁作品『東京の合唱』　11月3日15時、茅ヶ崎館。1500円。要申込。茅ヶ崎の文化景観を育む会☎0467・98・1630　藤沢―

▼盛岩寺昭和文化館　墨跡風入れ展と展示解説　11月8日～10日10～16時。無料。同館☎0466・48・5653　

▼旧モーガン邸で楽しむクリスマスリース作り　12月8日10時半、旧モーガン邸庭園。千円。旧モーガン邸を守る会☎0466・25・2076　同文化祭概要についての問い合わせ湘南邸園文化祭連絡協議会☎045・341・0087

文学つれづれ　177

吉川英治「宮本武蔵」（四）

赤羽根龍夫

吉岡道場の騙し討から逃れた吉川武蔵は、吉岡清十郎との一年後の決闘を約して武者修行の旅に出る。

先ず奈良を目指す。宝蔵院で槍の名手阿厳を一撃で倒したが、老僧・日観から「おん身は強すぎる」と云われ、負けたような気持ちに襲われる。

次に目指した柳生の里には当時から剣聖と云われた柳生石舟斎宗厳がいた。柳生の里の静逸なたたずまいにうたれ、ぜひ石舟斎との立合いを望むが柳生家の四高弟に阻まれる。合戦を挑む気持ちで立ち向かう武蔵の耳にどこからともなく笛の音が聞こえる。

一瞬の心の乱れを突かれ一太刀浴びた武蔵が四高弟の囲みを破って逃げだした先に石舟斎の隠居する庵があった。

武蔵を求めて旅を続けるお通は石舟斎の身の周りの世話をし、笛を吹いて老いの無精を慰めていた。

庵の門柱には漢詩が懸けてあった。

役人よ怪しまないでほしい、（私が）山城の門を閉ざすを好むを。この山には武器は無い。ただ野に清らかな鶯が鳴くだけです…（意訳）

この句に石舟斎の高雅な心境と自分の未熟な心を悟った武蔵はそっと石舟斎の庵から離れる。

長男英明のお宮詣
＝1938年（昭和13）明治神宮

その時、武蔵はそこにお通の姿をチラッと認めるが、会いたいという激しい胸の動悸を抑えて逃げるように駆けだしていく。

遠くに武蔵の影をチラと見たお通は声をふりしぼって叫ぶ。

「武蔵様！…」

お通を振り切って柳生の里を出た武蔵は伊賀から近江路、美濃、尾張と修行の旅を続けるが、伊勢路の途中、道端の釘を踏んで足を化膿させてしまって歩行が困難になる。宿屋で寝ころびながら武蔵は窓から見える伊勢神宮の森の奥に鋭くそびえる鷲ヶ岳を睨みつけていた。武蔵はその超然と聳える鋭い姿に柳生石舟斎その人を見ていた。

がばと起き上がった武蔵はその山に挑みかかった。麓を流れる五十鈴川の岩の上を「おれは勝つ！」と樽のように膨んだ足を引きづって断崖の藤づるに取り付いてよじ登った。必死の形相で山頂にたどり着いてみると足の甲からは青い膿汁が一升もあふれ出ていた。

おおうっ、おれの上にはなにもない。おれは鷲嶺を踏んでいる！

私が不思議に思うのは武者修行をしているといいながら、全編を通じて具体的な修行の姿はここだけで剣の修行ではない。柳生流と武蔵流の剣の鍛錬・修行を人生の目標としている私の吉川英治『宮本武蔵』に対する最大の不満はここにある。

それはとも角、このお通は伊勢神宮の禰宜（ねぎ）の家に身を寄せて、巫女（みこ）たちに笛を教えていた。

巫女たちが五十鈴川のほとりで見つけた汚れた着物と大小の刀を近くにいる武蔵の刀とは知らず、お通は巫女から受け取って両手に抱えて武蔵のことを思い出す。

一日として、武蔵を忘れないことが、お通には苦しい重荷だった。

恋は、虫歯のように、どうにもならない傷みを持つ。ふとまぎれている間こそ、お通は何気なくしているが、思い出すと、矢もたてもなくなって、的（まと）がないまでも、諸国諸街道を足にまかせて捜し歩き、武蔵の胸へ顔を当てて泣きたい。

傍線の部分は吉川英治の二度目の妻で永遠の女性となった妻・文子への結婚前の手紙の文章に書かれている。

旅先から、須賀川の牡丹園へ行った折り、…恋はむし歯のごとくどうにもならない傷みを持つ。そんな文字を、便りのハシに書いて寄こしたこともございました。

（『わたしの吉川英治』）

この後、英治にとってお通と文子はイメージ的には一体化していく。

（神奈川歯科大名誉教授）

展覧会情報

県立近代美術館　葉山 ☎046・875・2800	カイ・フランク展	幾何学的造形に着目した国際巡回展	~12/25 1200円
県立近代美術館 鎌倉別館☎22・5500	ふたたびの「近代」	岸田劉生「童女像」など近世～現代までの作品を紹介	10/12~1/19 600円
鎌倉国宝館 ☎22・0753	古都の祈りのかたち	仏像の姿・形、持ち物などを紹介。	10/12~12/1 600円
鎌倉文学館 ☎23・3911	特別展「オリンピックと文学者」	文学者たちが見てきたオリンピックの時代を紹介	10/6~12/25 500円
鏑木清方記念美術館 ☎23・6405	清方と弟子たち ～受け継がれる美	子弟の交流と受け継がれた風俗美人画など	~10/22 200円
鎌倉市川喜多映画記念館☎23・2500	明治・大正文藝シネマ浪漫	泉鏡花没後 80 年連携企画	10/11~1/13 200円
鎌倉歴史文化交流館 ☎73・8501	和鏡 ～水鑑から魔鏡まで	鎌倉市内で発掘された和鏡などを展観	~1/11 300円
鎌倉文華館・鶴岡ミュージアム☎55・9030	季節展示	鶴岡八幡宮の歴史から鎌倉文士の資料や映像	~12/29 300円
北鎌倉葉祥明美術館 ☎24・4860	Open Your Heart 展 ヒーリング・キャットⅡ	「愛と人生」を語るロングセラー絵本の続編	~11/29 600円
県立金沢文庫 ☎045・701・9069	聖徳太子信仰	鎌倉仏教の基層と尾道浄土寺の名宝を紹介	~11/17 700円
山口蓬春記念館 ☎046・875・6094	花鳥風月―山口蓬春、日本の美を描く	山口蓬春が描く新日本画の世界を紹介	~11/24 600円
藤澤浮世絵館 ☎0466・33・0111	江の島を訪れたエトランジェ　描かれた異邦人	外国からの来訪者を描いた浮世絵や資料	~10/27 無料
横須賀美術館 ☎046・845・1211	サラ・ベルナールの世界展	ベル・エポック時代の文化を多面的に紹介	~11/4 900円
茅ヶ崎市美術館 ☎0467・88・1177	江戸の遊び絵づくし	謎解き、隠し絵、絵文字など 111 点展示	~11/4 700円
神奈川近代文学館 ☎045・622・6666	中島敦展～魅せられた旅人の短い生涯	池澤夏樹氏編集で「世界文学」の視点から紹介	~11/24 700円
そごう美術館 ☎045・465・5515	不思議の国のアリス展	原作者自筆スケッチから国内外のアーティストの作品	~11/17 1500円
神奈川県立歴史博物館 ☎045・201・0926	真教と時衆	仏像や絵画など時宗二祖七百年御遠忌記念特別展	~11/10 900円

鎌倉朝日歌壇

香山　静子　選

ライオンの大あくびして動かざる動物園の八月の昼　片瀬　中村　喬

猛暑の様子が遺憾なく表現されている。

古文書のスクーリングへ急ぎをり大学通りの蝉しぐれの中　今泉台　下田　和夫

熱心にスクーリングに通う様が見える。結句が効果的。

残雪の谷幾本も見せしめて北アルプスは空につながる　逗子市　湊　美根子

確かな描写と発想に力量を見る。

葉桜の日陰とび跳び金髪の浴衣姿が段葛ゆく　辻堂　柳　蒼柳

甲子園にいよよサヨナラ振り向けば暑き打席にアキアカネ舞ふ　葉山町　近藤美知子

盆休み終わりて賑わう文具店いよいよ宿題やらねばならぬ　大船　小笹岐美子

ピッときた釣竿を持つ指先に二寸の鯵は暴れて上がる　笛田　入野　裕江

原爆忌祈りの中にあざやかに夾竹桃はとこしえに咲く　藤沢市　青木寿美子

静寂の湖水に映る潅木に神宿るなりアルプスの峰　葉山町　近藤　純

平凡な日々の中にこそ幸はありしみじみ思う齢重ねて　笛目町　出蔵かおる

病得て楽しきことのなけれども小さき一歩今日は花植う　藤沢市　一色千穂子

鎌倉朝日俳壇

星野　高士　選

〈天〉鎌倉てふ古都に住み古り秋深む　笛田　上田　満喜

秋深むがいかにも古都らしい。

〈地〉八月の空は昭和に繋がりぬ　植木　風見　玲子

八月の空は戦争への思いであろう。下五に大いなる意味が生まれた。

〈人〉空蝉の眼忘れてゆきしかな　藤沢市　青木寿美子

写生から少し飛躍したところに個性が見えた。虚と実の間が生き生きとしていた。

七輪の秋刀魚は苦き高値かな　葉山町　近藤　純

苦きが高値と秋刀魚両方に利いていた。

江ノ電の軋み読経に秋暑し　小美野京子

いかにも秋暑の感が強く伝わってきた作品。

稲光りするたび川面あらわれる　片瀬　國安　佳子

暗闇で見えない川面が稲光りのたびに浮かび上がる様子を十七音にうまく収めた一句だ。

迫り来る波頭の担ぐ大夕立　土用波歩めば頬に砂つぶて　腰越　小河　哲美

秋旱薬屑の匂ひ浜に満つ　腰越　松原　薫

秋バラよ真っ赤に燃えて優美なり　逗子市　塩谷あい子

旧道に異国語混じる蝉しぐれ　岡本　森田　孝

毎朝のラジオ体操錨雲　大船　鳴海　紀政

茄子の馬精霊迎え門ごとに　大船　添田　洋子

おぼつかぬ手より落ちたる花火かな　手広　髙口　道宏

朝な朝な色深みゆく山紅葉　材木座　羽賀　一男

笹目町　出蔵かおる

浮かんでは消ゆる記憶や青時雨　川名　植野あさ子

ひとり居の古家あまねし今日の月　藤沢市　一色千穂子

新涼や朝一番の犬の声　本鵠沼　森田　順子

早くゆく遅くゆく雲秋の空　逗子市　佐藤　信子

泡立てる海の形相台風期　金沢区　岩澤　正春

鎌倉朝日
発刊協力グループ
朝日新聞
サービスアンカー

ASA鎌倉小町
材木座一―一〇―三七―一〇三
☎22―3236

ASA鎌倉中央
長谷一―一―九
☎22―1004

ASA北鎌倉
大船二―二三―一六松栄ビル3F
☎38―7322

ASA鎌倉深沢
常盤二四七―二
☎31―1444

ASA大船西部
玉縄一―一四―一
☎46―6068

ASA大船南部
大船二―二三―一六松栄ビル3F
☎38―7322

ASA大船中央
大船二―二三―一六松栄ビル3F
☎38―7322

ASA腰越
藤沢市鵠沼藤が谷二―一―二三
☎0466―27―8716

ASA藤沢南部
藤沢市鵠沼藤が谷二―一―二三
☎0466―27―8716

ASA藤沢東部
藤沢市弥勒寺三―二二―一一
☎0466―22―7409

ASA湘南鵠沼
藤沢市鵠沼海岸二―一―一一
☎0466―34―6924

ASA逗子
逗子市久木一―一―一一
☎046―871―2368

ASA東逗子
逗子市沼間一―四―四
☎046―871―6845

ASA葉山
三浦郡葉山町堀内一八〇八
☎046―875―0515

ASA金沢八景
横浜市金沢区六浦一―二二―一三
☎045―782―2859

ASA大船北部
横浜市栄区笠間四―一一―九
☎045―891―0986